

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

主な特長

- DS-2 は、ターボ回路を搭載した、ディストーション・ユニットです。
- すべての回路をディスクリートで構成していますので、非常に低ノイズです。
- ターボ・モードを切り替えることにより、音質の異なる 2 種類のターボ・ディストーション・サウンドが得られます。
- リモート端子に別売のフットスイッチを接続すれば、ターボ・モードをペダル操作で切り替えることができます。

各部の名称とはたらき

DC IN 端子

AC アダプター (PSA-100：別売) を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。

※ AC アダプターを使用するときでも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

※ AC アダプターは、必ず指定のもの (PSA-100) を、AC100V の電源で使用してください。

※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

LEVEL つまみ

エフェクト音の音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

TONE つまみ

エフェクト音の音質を調節します。右に回すと高音域が強調され、左に回すと高音域がカットされます。

OUTPUT 端子

アンプや他のエフェクターに接続する出力端子です。

ギター・アンプ

ペダル・スイッチ

エフェクト・オン／オフを切り替えるスイッチです。

サムスクリュー

このサムスクリューをゆるめるとペダルが開き、電池を交換できます。

※ 交換方法については「電池交換のしかた」をご覧ください。

AC アダプター (PSA-100：別売)

CHECK

LEVEL

TONE

DIST

(REMOTE)

MIN MAX

LO HI

MIN MAX

TURBO

← OUTPUT

TURBO Distortion DS-2

INPUT ←

REMOTE ←

BOSS

CHECK インジケーター

エフェクト・オン／オフの表示と、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。

エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。

※ エフェクト・オン時にインジケーターが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。

DIST つまみ

ディストーションのかかり具合を調節します。右に回すほど歪みが多くなり、強烈なディストーション・サウンドが得られます。左に回すと歪みが小さくなり、軽いディストーション・サウンドが得られます。

TURBO 切り替えスイッチ

ターボ・モード (I／II) を切り替えるスイッチです。

詳しくは「操作方法」をご覧ください。

INPUT 端子

エレキ・ギター、その他の電気、電子楽器やエフェクターの出力を接続する入力端子です。

※ INPUT 端子は、電源スイッチも兼ねています。

接続プラグを INPUT 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。

DS-2 を使用しないときは、INPUT 端子に接続しているプラグを抜いてください。

エレクトリック・ギター

REMOTE 端子

別売のフットスイッチ (FS-5L など) を接続することにより、ターボ・モード (I／II) をペダル操作で切り替えることができます。

※ フットスイッチでターボ・モードを切り替えるときは、必ずターボ・モード切り替えスイッチを II (REMOTE) の位置にセットしてください。

FS-5L

接続時のご注意

- 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

電源を入れるとき： アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき： アンプなどの電源を最初に切ってください。
- 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

操作方法

1. 接続を終えたら、パネル面のつまみを図のようにセットします。

2. ペダル・スイッチを踏み、エフェクト・オンの状態にします (CHECK インジケーターが点灯します)。
3. TURBO 切り替えスイッチで、好みのターボ・モードを選びます。

ターボ I	クセのないディストーション・サウンドです。ターボ回路により従来のディストーションでは得られなかった強烈な歪みが得られます。フラットな特性を持っているので、従来のディストーションにありがちだった「ギターのポリウムを絞ったときに音がこもる」ということがありません。また、ディストーション回路は過激に歪ませたときでも「高域がキンキンして耳につき不快感を感じる」ことを防ぎます。
ターボ II	中音域にクセを持たせた非常に腰のあるディストーション・サウンドです。ターボ回路により、大型真空管アンプをフル・ポリウムで鳴らしたときの迫力のある音が得られます。

4. DIST つまみで、ディストーションのかかり具合を調節します。
5. TONE つまみで、ディストーションの音質を調節します。
6. LEVEL つまみで、ディストーションの音量を調節します。

電池について

- この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙『安全上のご注意』『使用上のご注意』に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
- 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。

電池交換のしかた

1. ペダル・スイッチを押さえながらサムスクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

※ サムスクリューは完全に取りはずすことなく、ペダルを開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。
3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

※ 電池の極性 (+／-) を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

※ ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サムスクリューをガイド・プッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

主な仕様

規定入力レベル	-20dBu
入力インピーダンス	1M Ω
規定出力レベル	-20dBu
出力インピーダンス	1k Ω
推奨負荷インピーダンス	10k Ω以上
電源	マンガン電池 (9V 形) またはアルカリ電池 (9V 形) AC アダプター (別売)
消費電流	15mA ※ 連続使用時の電池の寿命 (使用状態によって異なります) マンガン電池：約 25.5 時間 アルカリ電池：約 42 時間
外形寸法	73 (幅) × 129 (奥行) × 59 (高さ) mm
質量	395g (乾電池含む)
付属品	保証書 チラシ (安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口) マンガン電池 (9V 形、本体に接続済み)
別売品	AC アダプター：PSA-100

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

© 2017 Roland Corporation

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

02